

第 40 回 いなべエフエム番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 2021 年 2 月 17 日(水) 10 時 00 分～
2. 開催場所 北勢市民会館 視聴覚室
3. 出席者 委員総数 6 名 出席委員数 5 名

出席委員の氏名

佐藤 貴志委員長 辻 忠樹副委員長
成橋 貴夫委員 下田 禎己委員
森川 里佳委員

欠席委員の氏名

藤川 里美委員

事務局

弓矢孝己 中林謙太
浅山優平 種村茂高
瀬古忠光

4. 審議事項

1. 報告事項
2. 審議用サンプル番組について
 - ・山へ行こう

5. 議事の経過の概要及び結果

事項 1.報告事項

事務局より

- ・1月～3月の番組スケジュールについて。
- ・担当パーソナリティ変更について。
- ・コロナウイルス感染症対策について(番組休止、変更について)

事項 2.審議用サンプル番組について

委員

パーソナリティさんと出演者のトークが聞きやすい。テンポや話し方が心地よく、時間があつという間に過ぎていったというのが全体的な印象。

冬山の話も興味深かったが、うまくパーソナリティさんがキャンプの話にもっていった。そこから市内の宇賀溪キャンプ場が整備されヒュッグという新しいキャンプ場に生まれ変わるのですが、その話しに自然な流れでふっていただいて、宇賀溪のキャンプ場が楽しみだという話をしていただき、そこから初めて竜ヶ岳の話もしていただいていた。市役所の広報としても、山や自然というのが魅力で、どんどん発信していきたいと思っていますので、上手にお二人でお話をしていただいていたのがありがたい。その後、にぎわいの森やその食べ物、植物の話なども上手くしていただいていたと思う。これを聞いていただいた方がキャンプや山へいきたいと思える番組じゃないかなと思います。今後もこういった方向で放送していただければと思います。私も伊藤さんの指導で藤原岳に職員と登らせて頂きました。冬山はいけません、暖かくなったら藤原岳や竜ヶ岳へ登りたいなと思わせていただきました。

委員

今、お話があった通りです。番組内でにぎわいの森と別の話が混ざってややこし所があったが、間違いをすぐに、しっかりと訂正できていたのでよかった。

間違いをそのまま流すのではなく、きちっと訂正していたのがよかった。

一点思ったのが、山についての話は山の上の方の話かと思っていたが、下の話がほとんどだった。私の若い時はスキー場があり、よく滑っていた。思い出すこともたくさんあった。いなべ市が自然を有効に使って、ヒュッグをすることでこの番組で早く広報しているのはいいことだと思う。ただ、それが若い人がどう受け取るかが問題だし、山小屋を使う（泊まる）使わない、の話もあったが、これからはキャンプの話も出ていいのではないのでしょうか。

この番組は一週間に一回で、ゲストは変わらず、伊藤さんですか？

事務局

はい、この二人で続いています。

委員

遭難についてもわかりやすい方法で教えていただけるといいのではないのでしょうか。山へ行って、何かあったときにどうするかというのを教えていただけるといいと思う。

委員

私も山へ登るので、興味を持って聞かせて頂いた。

興味を持っている人間からすると放送時間が短いなと思いました。

せっかくなべ市にセブンマウンテンなどいい山があるので、もっと時間を増やしてもいいのかなと思う。地元にはあまり山へ行かないというのを言っていましたが。そうなのでしょうか?せっかくなべ市にあるので、もっと時間枠を増やしてもいいと思います。御在所ロープウェイの所で放送していたのはいなべエフエムさんですか?

事務局

CTY エフエムさんだと思います。

委員

いなべ FM でも、そういう放送をやってもいいと思います。

委員

楽しく聞かせていただきました、BGM もよかったです。二人の掛け合いもうまかったです。自然な流れで幅広く話題を展開されていたと思います。宇賀溪や青川峡の魅力を伝えられていたと感じましたし、特にいなべが今、力を入れていることをテーマに、しっかりと報道されていたことはよかったですと思います。冬山の危険もしっかりアナウンスされていたので良かったと思います。15分ですが内容の濃い番組でした。

委員

私も同じ意見です。掛け合いがうまく聞いていてもよかったです。私も7回ぐらい竜ヶ岳へのぼったが、山に登る人たちからしても、宇賀溪がリニューアルすることはいいことだと思う。ただ番組の最後に、この時期にいなべエフエムへ立ち寄ってくださいとアピールをしていたが、コロナ禍なのでどうなのかな、と思いました。

事務局

委員から頂いたご意見ですが、今回のサンプル番組に関しては山登りの事しか話していませんが、時季ごとに遭難注意やマナー等のアナウンスをしながら放送をしています。委員のおっしゃる通り大切なことだと思います。また、いなべの方に知っていただく事も大切ですし、市外の方にも来ていただければと思います。これからもそういった発信をしていきたいと思っております。

また、先ほどご指摘いただきました、パーソナリティの発言については、コロナ禍の中で非常に気を使っているところであり、今後も注意をしながら、放送していきたいと思っております。もし間違った発言等があればすぐに訂正できる態勢をとっていきたいと思っております。

6. 審議事項に対してとった措置
次の番組制作会議にて検討予定
7. 公表の方法
自社ホームページ
8. その他
特になし。

以上